

伊達赤十字病院と住民の皆様を繋ぐ情報誌

だてクロス

総合病院伊達赤十字病院広報誌

＜特集＞ 『地域に根付いた安全・安心なお産のために』

- ・P2～3 様々な出生前診断
- ・P4 産婦人科病棟紹介～赤ちゃんとお母さんをサポート～
- ・P5 風疹ってなんだろう
- ・P6 インフルエンザ予防接種のご案内
- ・P8 北海道胆振東部地震～当院の活動記録～



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
伊達赤十字病院

ご自由にお持ち
帰りください

Please take it home freely.

Vol.7

＜特集＞ 産婦人科 地域に根付いた安心・安全なお産の為に

『出生前診断を正しく知る』

当院産婦人科について

はじめに)

産婦人科医療は大きく周産期科（産科）、婦人科、生殖医療科の3つの分野があります。このうち周産期科は妊産褥婦と胎児および新生児を診る診療科であり、小児科医との共同診療科としての位置付けです。当院では地域からの要望もあり、また救急性もあるため、産婦人科医療の中ではこの周産期分野を優先しています。とは言っても当地域には高齢女性や介護が必要な女性も多いため、婦人科系のトラブルを抱えている患者さんも多くいらっしゃいます。一般的に婦人科は、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣嚢腫などの良性腫瘍から子宮癌、卵巣癌などの悪性腫瘍、さらに子宮留嚢腫などの感染症、骨盤臓器脱（膀胱脱など）など広範囲な分野を網羅しており、当院でも可能な限り対応しています。生殖医療科は、体外受精などの生殖補助医療（ART）を含めた挙児希望の御夫婦に対する医療の総称です。現段階では、当院は十分な生殖医療を提供できる体制は整っておらず、外来のみの対応とさせていただきます。

さて、上記3分野全てを産婦人科医は10～20年の歳月をかけて一通りマスターしていきます。つまり各々得意分野はあっても40歳前後でやっと産婦人科医としては一人前でしょうか。しかしながら年齢を重ねると体力の低下により年々パフォーマンスが落ちていくのが我々産婦人科医の共通の悩みの種となっています。



Doctor Profile

田熊 直之(たくな なおゆき)

第一産婦人科部長

日本産婦人科学会専門医

産婦人科医学用語予備知識)

本題に入る前にまず語句説明をしましょう。

4 D超音波装置：立体的かつ動画として画像描出可能な超音波装置。リアルタイム3Dとも呼ばれる。胎児の外表面の描出に優れている。

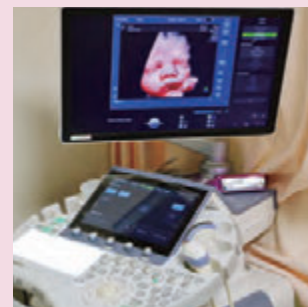
VSD：心室中隔欠損症の略語で、胎児先天性心疾患の一つ。左心室と右心室の間に通路(穴)ができてしまう疾患。他の心奇形を合併している場合には新生児の命をつなぐ重要な連絡路になることもある。

染色体：人間は46本の染色体を有しており、大きいサイズから1から順番に番号がつけられている。一個一個の染色体には数多くの遺伝子が乗っているため、たった1個の染色体の増減によって多くの遺伝情報に影響し様々な病態を呈することになる。

トリソミー：前述の染色体が1本多い数値的異常状態。例えば21番染色体が1本多い状態を21トリソミー（染色体数は計47本）という。21トリソミーは別名、ダウン症と呼ばれている。一般的に胎児が他の番号のトリソミーの場合、分娩まで辿りつける可能性は少ない。

NIPT：非侵襲的出生前診断。新型出生前診断とマスコミで紹介され、日本では2013年から臨床研究として国内の限定された病院で検査可能である。母体の採血のみで胎児のトリソミーを診断する方法。現在は臨床的適応として13番、18番と21番の胎児トリソミーを検出している。

染色体構造異常：トリソミー等の染色体の数の異常ではなく、個々の染色体の形態が多少違っている状態。転座とか逆位等がある。両親から子へ引き継がれて胎児に遺伝性のトリソミーを引き起こす場合がある。



出生前診断)

ここからは本題である出生前診断の現況を紹介します。今回は体外受精後の極初期の診断をする着床前診断には触れません。出生前診断は妊娠6～7週以降に胎児が超音波に描出できる頃から始まります。0.5～1.0cmの胎児を想像してみてください。その時期に何がわかるかですが、端的に言うとも胎児が流産となる可能性が高いか低いかの予想ができます。超音波所見としては私見も含め色々ありますが今回は省きます。さらに妊娠9週頃の2cm位にまで育った胎児に関しては、染色体異常の可能性はかなり低くなります。胎児染色体異常がある場合は一部を除きヒトではこの週数までにはほとんど流産となります。おおよそですが、妊娠5回のうち1回は流産となる確率で、その原因のほとんどが染色体異常です。

以上の妊娠週数を無事に乗り越えた胎児に対して、一般的に言われている出生前診断が可能になります。出生前診断を大きく2つに分類すると、1)非確定的出生前診断と2)確定的出生前診断に分けることができます。ただしこれらの診断方法はあくまで染色体異常の検査が目的であり、全ての先天奇形や遺伝子異常を診断するわけではありません。

非確定的出生前診断

N T（胎児後頸部浮腫）：胎児頭部が2 c m近くになる妊娠11週頃に胎児の首の後ろの浮腫であるNTを超音波検査で確認します。NTが3.5ミリ以上ある時はダウン症の陽性所見と定義されていますが、切れ込みありとか他の判断材料もあり、これだけでは確定はできません。この時期では似たような所見を呈するcystic hygromaとかウイルス感染とか、または単なる正常所見であることも多いとされています。

ソフトマーカー：前述のNTも含まれますが、妊娠期を通じて超音波検査で胎児染色体異常との関連性がある所見で20項目くらいあります。

母体血清マーカー：以前はトリプルマーカーと呼ばれていましたが、検査項目が増えて現在はクアトロテストと呼ばれています。妊娠15週頃に母体の採血をしますが、これで推定できる胎児異常は、18トリソミー、21トリソミー、神経管開存の3種のみです。超音波検査で18トリソミーや神経管開存はほぼ診断可能なので、実質的に21トリソミー（ダウン症）の確率のみが%で算出されます。以前はかなり流行していましたが、不確定要素が多く、しかも高齢妊娠では限りなく陽性に近くなるため、結果の解釈が難しい補助的検査とみています。

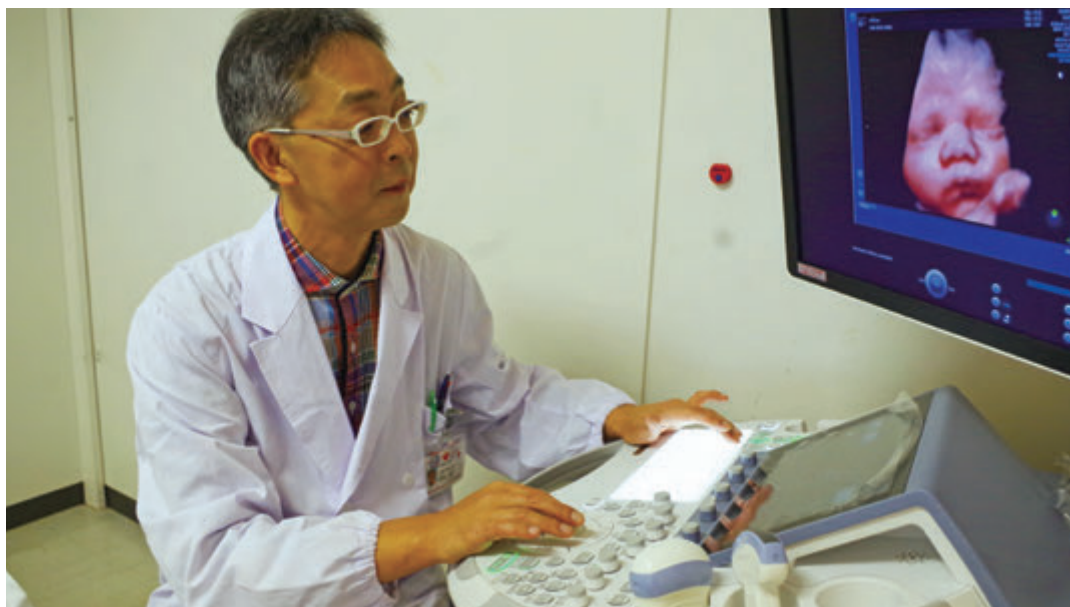
N I P T：前述しましたが、臨床研究段階の検査法です。新聞やマスコミにも取り上げられた新型出生前診断のことです。原理的には胎児成分が母体に混入しているということが証明され、その後開発された技術です。例えば妊娠初期の悪阻（つわり）にしても妊娠性高血圧症（妊娠中毒症）にしても原因は胎児成分の母体への混入である可能性があります（注：証明されていません）。NIPTを単純に説明します。母体血中に胎児DNAが流れており、たとえば母体だけの21番染色体の割合は一定（1.3%）のはずなのですが、胎児がダウン症で21番染色体を1本多く持っているとその妊婦の血中を流れる21番染色体の割合（1.42%）は他の番号の染色体より多くなるという理論から算出されます。これを13番と18番も同様に算出するのがNIPTです。日本に導入される前はXとかY染色体に関しても検査していたと記憶しています。つまりNIPTは13、18、21トリソミーを検出する検査と言えます。前述したように13、18トリソミーでは妊娠中期までに予測がつきますので、結局は21トリソミー（ダウン症）のみを検出する検査と言っていいでしょう。ただし、この検査も100%確定の検査でないことが難点です。

母体年齢にもよりますが現段階では80～99%と幅があります。

確定的出生前診断

羊水検査と絨毛検査があり、絨毛検査は妊娠11週頃に、羊水検査は妊娠16週頃に施行します。子宮内に穿刺針を挿入するため、多少のリスクを伴います（個人的には失敗したことはありませんが、今後はわかりません）。この検査では構造異常（用語参照）を含めた染色体疾患のほぼ99%が確定できます。また結果により両親の染色体異常が判明することもあり、親族問題も含め色々な意味で検査に対しては注意を要します。

一時的に話題となった出生前診断に関して少し理解できましたでしょうか？ 結局はNIPTを含めた非確定的な出生前診断はダウン症の可能性の検出。羊水検査が染色体異常全般の確定診断という位置付けです。一方、NIPTの臨床研究が導入されてからは、出生前診断に対する多くの制約が果たされることになりました。しかし当院に正式な遺伝カウンセリング室はないため、出生前診断に関する質問事項等に対しては普段の妊婦健診で、妊婦さんとお話しをするという形式をとっています。



おわりに)

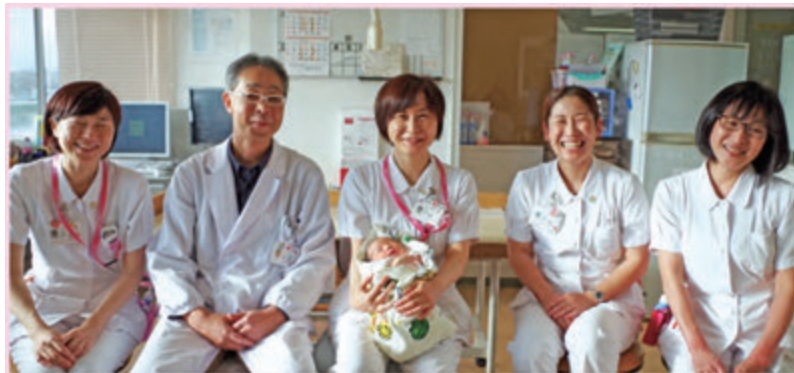
実際、胎児異常は染色体異常のみで起こるわけではありません。もっと小さな遺伝子レベルで起きていることが多いのが事実です。あまり突き詰めていくと、何をもって正常とするのかもあやふやになっていくことがあります。今現在の正常とされているヒト自体が未来では異常と診断される時があるかもしれません。

余 談)

以前、医学生に対しては、産婦人科学の通常講義以外に臨床遺伝学の講義も受け持っていました。その題材の一つとして正常女性と均衡型ロバートソン（14；21）転座の男性保因者の夫婦症例を取り上げることが時々ありました（ちょっと難しい話です）。その場合の正常児および父方に責任のある遺伝性のダウン症児の出生の可能性を検討せよという学生にとっては難問です。最終的には、医師になってから出生前診断や染色体検索、遺伝子検索を行う場合には、自身の豊富な知識が必要で、かつ親族を含めたプライバシーへの配慮に充分注意するようにと学生を締めました。余談になりますが、当院小児科の林先生は、分子生物学（DNAとかRNAとか）にも精通しており、私とそんなに変わらない時期にNIHで研究をしていたことがあります。林先生には遺伝学や分子生物学の話もスムーズに通じるため、患者さんや胎児の病気の相談はもちろんのこと、時々昔の苦勞した基礎研究の思い出話に花が咲きます。周産期科は産婦人科医と小児科医の仲が悪いとうまくいきません。当院は大丈夫かと思います。

第一産婦人科部長 田熊 直之

～生まれてくる赤ちゃんとお母さんをサポートします～



産婦人科病棟紹介

産婦人科入院病棟は3階病棟にあります。助産師8名が勤務しています。

主に分娩の方が入院されますが、入院悪阻（つわり）、切迫流産、婦人科手術の方もいらっしゃいます。新生児から高齢の方まで、広い年齢層の方が対象の病棟です。分娩の取扱は、リスクのない初経産婦を対象とし、里帰り分娩も受け入れています。分娩件数は年間100～200件です。

外来の妊婦健診では、妊婦さん1人ひとりに丁寧な診察、保健指導を心掛けています。特に4Dエコーの導入によって、妊娠時のスクリーニングが有用なのはもちろん、妊婦により分かりやすい精細な胎児画像を提供することができ、好評を得ています。

分娩入院後は助産師が分娩の不安の軽減、痛みの緩和や産婦さんの望むお産に近づけられるように医師と共に手助けさせていただいています。助産師のほとんどが日本看護協会アドバンス助産師で専門的な知識・技術を提供できるよう研鑽しています。

分娩入院中は、育児指導や健康に関する教育、相談を行っています。それに加えて退院後の産後ケアにも力

を入れていきます。赤ちゃんの体重測定や授乳の相談、卒乳や乳腺炎などの相談に応じ、お母さんや赤ちゃんの力になれるよう活動しています。

また、自宅に戻ってからも途切れない援助が提供できるように、地域の保健師と連絡連携をとっています。

院外においては、思春期教育の資格を持つ助産師が小・中学校を訪問して思春期講演を行っており、地域でも活躍しています。

私達助産師は、お母さん、赤ちゃんを中心とした家族をサポートするために、医療・看護チーム一丸となって安心・安全な周産期医療、看護の提供を目指しています。



風疹

TV等の報道で密かに感染が拡大していると言われていた風疹。こどもの流行り病と思いがちですが、実は大人が危ない現状を感染管理看護師が解説します。

Ⅱ 風疹ってなんだろう ⇒ 発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とするウイルス性発疹症

風しんは感染力が強く、特に成人で発症した場合、高熱や発しんが長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあります。

また、脳炎や血小板減少性紫斑病を合併するなど、軽視はできない疾患でもあります。

風しんは、風しんウイルスを含んだ飛まつ（咳やくしゃみ、会話、発語などで飛び散るしぶき）を吸い込んで感染します。発症予防には風しんのワクチン接種が極めて有効です。

その他の風しんの特徴



風しんは子どもの病気と思われがちですが、実は子どもより大人の間で風しんの感染が広がっているため、近年では大人も注意が必要なのです。



Ⅱ 先天性風疹症候群って ⇒ 風しんウイルスの胎内感染によって先天異常を起こす感染症

免疫のない女性が妊娠初期に風しんにかかると、風しんウイルスが胎児に感染して、出生児に先天性風しん症候群（CRS）と総称される障がいを引き起こすことがあります。

CRSの3大症状は**先天性心疾患**、**難聴**、**白内障**です。3大症状以外の症状には、網膜症、肝脾腫、血小板減少、糖尿病、発育遅滞、精神発達遅滞、小眼球など多岐にわたっています。

Ⅲ 自分の抗体価を知ろう ⇒ 妊娠を希望する方は「抗体検査」。未来の赤ちゃんへ、想いのカタチ。

これから妊娠を希望する女性の方で、風しんワクチンを受けているか不明な方、風しんにかかったことが確実でない方は、ご自分の風しん抗体価を検査しませんか？

そして、その結果に応じて、医師と相談のうえ、ワクチンの接種をご検討ください。

！ ご注意下さい

妊娠したら、風しんのワクチンを受けることができません。

未来に出会う大切な赤ちゃん。生まれつきの病気を持たないように、ママになる前にしかできないことがあります。

現在、多くの自治体では先天性風しん症候群の予防のために、主として妊娠を希望する女性を対象に、風しんの抗体検査（免疫の状態を調べるための血液検査）を無

料で実施しています。実施状況については自治体により異なりますので、抗体検査を希望される方は、お住まいの地域の保健所までご相談ください。

参考・引用文献 風しんの感染予防の普及・啓発事業

健診センターへご相談下さい

当院では健診センターにて風疹の抗体検査及びワクチン接種が可能です。

<風疹抗体検査>

- ◆HI法 1,080円
- ◆EIA法 2,366円

<ワクチン>

- ◆風疹ワクチン 5,863円
- ◆MRワクチン 7,714円

※予約制となっております。事前に電話予約をお願いします。
☎0142-23-2211（代表） 交換「健診センターに」とお伝えください。

予約受付 月・火・水・金13～17時
接種時間 平日 13:30～15:30

外来受診案内

- ◆初診……保険証をお持ちになり、医事課前記載台にて診療申込書にご記入の上、3番窓口にお越しください。紹介状をお持ちの方は、一緒に窓口にご提出ください。
- ◆再診……正面玄関前の再来受付機に診察券を入れ受付してください。保険証確認が必要な方、診察券に不具合のある方は医事課窓口にての受付となります。
- ◆休診日……土・日・祝祭日・年末年始・赤十字創立記念日（5月1日）
- ◆右記一覧に診療日と記載されている医師でも、都合により休診・代診となることがございます。
- ◆※印のついている医師については、毎月診療日が異なります。
- ◆この一覧は医師の都合、診療体制の変更により急遽変わることがございます。
- ◆受付時間 午前 8:25～11:00 午後 12:45～15:00
曜日、診療科により受付時間は異なります。
- ◆診療開始時間 医師・曜日により異なります。

来院前に電話による確認をお願いいたします。

お問合せ先：医事課外来窓口
☎0142-23-2211(内線214)



分娩料金について

【正常分娩の場合】

入院6日間 45万円程度

限度額認定証を申請することをおすすめします。

【帝王切開の場合】

入院10日間 予定帝切 38万円程度

入院10日間 緊急帝切 45万円程度

《出産育児一時金の直接支払制度について》

当院で出産する患者様は直接支払制度を利用して頂きます。42万円返は健康保険から病院に振り込まれますので、窓口では42万円を超えた分についてお支払いをお願いいたします。

※ご不明な点がございましたら入退院受付までお問い合わせください。

整形外科常勤医不在のお知らせ

9月一杯をもちまして富田医師が退職したことにより、整形外科の常勤医師が不在となりました。このため入院及び手術には対応できなくなりましたので、入院・手術が必要と判断された患者様は室蘭等の医療機関をご紹介させていただき対応になります。

外来は出張医により継続いたしますが、完全予約制となります。詳しくは次ページの外来診療一覧をご覧ください。

インフルエンザ予防接種のご案内

今年度のインフルエンザ予防接種についてご案内いたします。

年齢により予約、接種場所が異なりますので、お間違いのないようご注意ください。

■生後6カ月～中学生まで

実施場所 小児科外来

接種期間 平成30年10月23日より

※予約制：事前の電話予約が必要です。

予約方法 月～金曜日 8時25分～17時

☎0142-23-2211（代表）

交換に「インフルエンザの予約」とお伝えください。

接種日時 毎週火曜日

13時30分～16時



■高校生以上

実施場所 当院健診センター

接種期間 平成30年10月22日～12月28日

受付 当院健診センターに直接お越しください（予約不要）

接種日時 月～金曜日

午前10時30分～11時30分

午後13時30分～14時30分

持参するもの 保険証、診察券（お持ちの方）

■接種金額

<6カ月～13歳未満>

1回目・2回目 各2,700円（税込）

<13歳以上> 1回 4,179円（税込）

<65歳以上で伊達市、洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町に住所を有する方> 1,500円（1回のみ）

生活保護、非課税世帯の方は、証明書提出により無料

外来診療一覧

		月	火	水	木	金
内科・総合内科	午前	宮崎	小柴	宮崎	小柴	宮崎・出張医※
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
消化器科	午前	櫻井・飴田	久居・渡邊	櫻井	久居・飴田	久居・渡邊
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
栄養サポート外来	午後	地域医療連携予約のみ				
緩和ケア外来<完全予約制>	午後	—	岡本※ 14:00~16:00	—	—	—
神経内科	午前	松岡	松岡	井上	安喰※ 10:00~11:00	松岡 佐久嶋※ 9:00~11:00
	午後	<検査>	山田(新患のみ) 13:00~15:00	—	松岡	佐久嶋※ 13:00~15:00
もの忘れ・頭痛外来<完全予約制>	午前	松岡(午前)	松岡(午前)	—	松岡(午後)	佐久嶋※
	午後	頭痛外来	頭痛外来	—	頭痛外来	9:00~15:00 もの忘れ外来
循環器科<完全予約制>	午前	武智(予約のみ) 出張医	出張医	福田	福田	出張医
	午後	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ	予約のみ
禁煙外来<完全予約制>	午後	—	—	—	—	武智・福田※ 13:30~16:00
外科	午前	川崎・吉田	佐藤・行部	川崎(予約のみ)	行部(予約のみ)	佐藤・吉田
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
ストーマ外来<完全予約制>	午後	—	—	—	—	行部※ 14:00~16:00
リンパ浮腫ケア外来<完全予約制> 私費診療	午後	—	—	認定看護師・看護師 13:30~16:00	—	—
整形外科<完全予約制>	午前	相澤※	薄	長汐	杉	小澤
	午後	—	—	—	—	—
小児科	午前	林	林	林	林	林
	午後	田原 乳児健診 13:30~15:00 林 一般 15:00~16:00	田原 予防接種のみ 13:30~15:30	<検査・手術>	林(非感染症外来) 完全予約 田原(一般) 14:00~15:30	林 13:30~15:30
産婦人科	午前	田熊・岡田	岡田・田熊	田熊・岡田	岡田/田熊 交替診療	岡田・田熊 交替診療 予約のみ
	午後	—	—	—	—	—
精神神経科 <初診に限り完全予約制>	午前	竹浪	出張医 9:00~	早川	早川・竹浪	竹浪
	午後	竹浪 (予約のみ)	—	早川 (予約のみ)	早川・竹浪 (予約のみ)	—
もの忘れ外来<完全予約制> 13:30~15:00	午後	—	早川/竹浪 交替診療	—	—	—
麻酔科	午前	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30	—	立川 9:00~10:30	立川 9:00~10:30
	午後	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>	<手術>
放射線科	午前	地域医療連携予約のみ				
皮膚科	午前	—	出張医 受付11:00まで	—	出張医 受付11:00まで	出張医 受付11:00まで
耳鼻咽喉科	午前	長内	長内	長内	長内	長内
	午後	<検査・手術>	—	長内 13:30~15:30	<検査・手術>	長内 13:30~15:30
甲状腺専門外来<完全予約制>	午後	—	—	長内 13:30~15:30	—	長内 13:30~15:30
眼科	午前	出張医 9:00~	—	—	—	出張医
	午後	—	—	—	—	—

社会課掲示板

平成30年度北海道胆振東部地震

伊達赤十字病院の活動



平成30年9月6日午前3時8分 北海道胆振地方中東部を震源とする大規模な地震が発生しました。当院も停電の被害に遭いましたが、非常用発電機による自家発電にて対応。また、DMATを始めとして赤十字救護班やこころのケア班など計9個班を派遣し、被災地を中心とした災害救護活動を行ってきました。今後も赤十字病院として、尊い人命を守るための活動ができるよう日々訓練等を行い、体制整備や人材育成に努めていきます。

伊達赤十字病院理念

伊達赤十字病院は赤十字のこころを基に、地域の皆様に信頼される医療を目指します。

基本方針

- 1 患者様の人格、人権を尊重した、患者様の立場に立った医療を目指します。
- 2 医療人として常に自己研鑽し、より高度な医療サービスの提供をいたします。
- 3 病院における医療事故の防止及び医療の安全性の更なる向上を図ります。
- 4 胆振西部地域の中核病院として、医療、保健、福祉との連携を図り、住民の健康と生活を守ります。

今回の表紙

当院で出生した男の子
母親に抱かれて安心している寝顔に癒されます